

平成 30 年度 全国獣医師会事務・事業推進会議の概要

I 日 時：平成 30 年 7 月 13 日(金) 14:00～17:00

II 場 所：明治記念館 1 階「曙」

III 出席者：

1 全国 55 都道府県市獣医師会
担当役員・事務局職員

2 日本獣医師会
会 長：藏内勇夫
副 会 長：酒井健夫
専 務 理 事：境 政人
顧 問：北村直人
事務局職員：17 名

IV 説明・報告事項

1 日本獣医師会説明事項

- (1) 平成 30 年度事業計画
- (2) 日本獣医師会創立 70 周年記念行事
- (3) 獣医学術学会事業関係
 - ア 学会組織と事業運営の状況
 - イ 獣医学術学会年次大会・同地区学会の開催
- (4) 獣医学術講習会研修会事業
- (5) 獣医療提供体制整備推進総合対策事業
- (6) 獣医師生涯研修事業
- (7) 獣医事対策等普及啓発事業
 - ア 2018 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” の開催
 - イ 日本獣医師会動物愛護週間関連行事褒賞事業
- (8) 動物福祉適正管理施策支援事業
 - ア 動物適正管理個体識別登録等普及推進事業
 - イ 動物愛護法改正によるマイクロチップ装着義務化等への対応
- (9) 小動物獣医療に関する AMR モニタリング等の調査の実施について
- (10) 部会委員会等運営事業
- (11) 獣医療証明様式提供事業
- (12) 日本獣医師会獣医師福祉共済事業
 - ア 生命共済保険事業
 - イ 獣医師賠償共済事業
- (13) その他

2 決議要望事項

- (1) 平成 29 年度地区大会決議・要望事項等に対する対応
- (2) 地方獣医師会照会事項

3 日本獣医師連盟活動報告

4 研修会「個人情報の取扱いとプライバシーマーク取得に向けた日本獣医師会の取組み」

V 概 要

【開 会】

日本獣医師会事務局の司会で、次のとおり会議が進められた。

【開会の挨拶】

藏内会長から以下の挨拶が行われた。

皆さま方には日本獣医師会の事業にご理解とご支援をいただき、厚く御礼を申し上げます。

このたび東海、近畿、中国、四国、九州等において、想定外の豪雨被害が発生し、多くの方々が被災され、亡くなられた。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。現在日本獣医師会では、関係各位と連携を取りながら情報を収集し、被害を受けられた方を中心に、日本獣医師会としてできる限りの支援を行っているので、地方獣医師会におかれてもしっかりとした災害対策の取組みを行っていただきたい。

通常総会における私の挨拶の冒頭で、わが国では大規模な自然災害はいつどこで発生してもおかしくない状況であり、われわれは常に災害に対する意識を高めておかなければならない、災害発生時における初動対応に関する知識を身に付けるべきであるといった挨拶をさせていただいた。その直後にあのような大きな災害が起きるとは想定していなかったが、今後は想定外が当たり前であると認識していかなければならないと思っている。豪雨被害では一部の構成獣医師の方々が被災されているが、被災動物の救護活動は地方獣医師会でしっかりと行っているのを聞いていますので、今後も日本獣医師会と地方獣医師会が連携し、取組みを深めていきたいと思っています。今後とも皆さまのご支援をよろしくお願ひしたい。

さて、6 月の通常総会を過ぎて私の任期は 3 期目の後半となった。これまでも皆さま方と情報を共有し、同じ目標を持って課題解決に取り組んできた。現在、われわれを取り巻く環境は多種多難なものが多く難しい時期ではあるが、獣医師界の舵取りに間違いがないよう、しっかり進めていきたい。

私は会長就任後、スピーディーに解決しなければならない課題は、会長直属の特別委員会を設置して対応してきた。まず、平成 25～26 年には狂犬病予防体制整備、

女性獣医師支援、日本医師会との連携の3つの特別委員会を設置して論議をし、課題を解決してきた。2期目には、人と動物の共通感染症対策特別委員会の中に、狂犬病予防体制整備、医師会との連携推進についての委員会を設置し、さらにもう一つは、現在、国会で動愛法の改正について論議されているところであるが、マイクロチップ普及推進特別委員会を設置した。そして3期目である今期は、One Healthを医師会とともに推進していくために、One Health推進特別委員会を設置した。この特別委員会では引き続き、狂犬病予防体制がどうあるべきかを検討しており、また、医師会との連携をさらに深めて強固にするための委員会を設置し、さらに新たに薬剤耐性菌（AMR）対策についても委員会で対応することになっている。また、動物飼育環境整備推進特別委員会も設置し、マイクロチップの問題、家庭動物飼育環境の健全化、災害時の動物救援対策について、3つの委員会を設置し、現在、検討を行っているところである。

日本獣医師会としてはOne Healthの実践、世界獣医師会及びアジア獣医師会連合との連携による国際交流活動の推進、獣医学教育の国際水準化に向けた整備・充実、獣医療の向上、動物愛護管理法の改正によるマイクロチップの装着・登録の義務化、勤務獣医師の処遇改善、チーム獣医療を構成する動物看護師の公的資格化の推進等、多くの課題に取り組んでいるところである。特に、5年に一度の動愛法の改正が現在の国会で取り上げられる予定であり、各政党の中で論議されているところであるが、秋の臨時国会まで延びることもわれわれは考えておかなければならないと思っている。このことについては、これまで大変ご尽力をいただいている北村直人日本獣医師連盟委員長からご報告をいただきたいと考えている。

いずれにしても、われわれ執行部がさまざまな事業を推進するに当たっては、全国の獣医師会の事務局職員の方々との連携が不可欠である。本日は年に一度の全国の獣医師会の事務局会議であるが、われわれにとっては貴重な会議であると考えているので、どうか忌憚のないご意見をお寄せいただき、今後の事務推進に役立たせていただきたいと考えている。

日本獣医師会の発展と地方獣医師会の発展をともに念頭におきながら、今後、われわれ役員一同、最善を尽くす決意であるので、どうかよろしくお願い申し上げ、日本獣医師会会長としての挨拶とさせていただきます。

【議 事】

1 日本獣医師会説明事項

(1) 境専務理事から、平成30年西日本豪雨災害支援・

救護活動等について説明及び協力依頼が行われた。

(2) 事務局担当者から、順次、以下の説明が行われた。

①平成30年度事業計画について

②日本獣医師会創立70周年記念行事の開催について

③獣医学術学会事業関係として、平成30年度獣医学術学会年次大会及び獣医学術地区学会の開催、地区学会会長賞選考演題数、日本獣医師会学会学術誌への投稿の推進、地区学会への学会正副会長の出席予定について

④獣医学術講習会研修会事業として、産業動物臨床・小動物臨床・獣医公衆衛生の講習会について

⑤獣医療提供体制整備推進総合対策事業として、各種研修・講習会の開催と協力の依頼について

⑥獣医師生涯研修事業として、これまでの事業内容と今後の進め方について

⑦獣医事対策等普及啓発事業として、2018動物感謝デー in JAPANの開催の概要、日本獣医師会動物愛護週間関連行事褒賞事業について

⑧動物福祉適正管理施策支援事業として、動物適正管理個体識別登録等普及推進事業、動物愛護法改正によるマイクロチップ装着義務化等への対応について

⑨小動物獣医療に関するAMRモニタリング等の調査の実施について

⑩部会委員会等運営事業として、特別委員会と部会委員会の開催について

⑪獣医療証明様式提供事業として、今後の変更点と発代行の対応について

⑫日本獣医師会獣医師福祉共済事業として、生命共済保険事業、獣医師賠償共済事業の概要について

2 決議要望事項

事務局から、平成29年度に実施された地区獣医師大会における決議要望事項等の内容とその対応の説明が行われた。

3 日本獣医師連盟活動報告

北村直人日本獣医師連盟委員長から最近の活動について報告が行われた。

4 研修会「個人情報の取扱いとプライバシーマーク取得に向けた日本獣医師会の取組み」

SOMPO リスケアマネジメント(株)の西出三輝 上席コンサルタントを講師として、「個人情報の取扱いとプライバシーマーク取得に向けた日本獣医師会の取組み」に関する研修会を行い、マイクロチップ登録情報等、個人情報の保護の重要性やプライバシーマークの概要、プライバシーマーク取得までの流れ等について説明が行われた。